

第 227 回 昭和の森 自然観察会

森の巨人たち

藤田浩二（茂原市）

日 時：2010 年 11 月 14 日（日）13～15 時 天候：曇り

参加者：12 人（子供 3 名，大人 9 名） 指導員 18 名

担当指導員：佐野由輝，渋谷雄二，藤田浩二

紅葉も始まり、気温も18度と自然観察には絶好のコンディションの中、11名の参加者と公園内の巨木めぐりをおこないました。

今回のテーマは、当公園を代表する高木の樹種を計測・観察することにより、各樹種の樹形・木肌・葉等の特徴を知っていただくと共に、「森」が多様な種類や樹齢の樹木で構成されていることを楽しく体感・理解していただき、自然に親しんでもらうこととしました。

プログラムの流れは、巨樹の定義である幹回り 300cm前後の、7種の樹木をめぐり、樹木の高さ、幹回り、樹冠の幅を参加者自らで簡易計測してもらうこととしました。

まず、はじめに、世界一の巨樹の大きさ(根回り58m)を体感してもらうため、巻き尺で輪を作りました。そして、参加者と指導員の全員で手をつないで囲もうとしたのですが、全く足りず、世界一のスケールの大きさに、みんな驚いていました。続いて、子供達に輪をトラック代わりに元気一杯徒競争をしてもらいました。

続いて、担当指導員が手作りの説明パネルを使いながら、簡易樹高測定定規を用いた樹高の測定方法、巻尺を使った幹回りの測定方法について説明しました。測定方法をマスターした後、参加者が少なかったので班分けはせずに全員で、シラカシ・モミ・クスノキ・スダジイ・ユリノキ・スギ・キリの巨木をめぐり樹高や幹回りを計測したり、葉っぱや実を観察したりしました。

簡易樹高計測定規は「簡単でいいですね」と感想ももらえ、小学生の女の子も使いこなせていたようなので、その手軽からも一つザックに忍ばせておけば、様々な観察会で重宝するのではないのでしょうか。計測の結果、巨木(幹回り3m以上)は、モミ・ユリノキ・キリの三本であることを皆で確認し、「こんな太い木がこの公園にはあったんですねー」と感嘆の声をいただきました。

また、各樹木の計測時には、国際・国内レベルの巨木や各樹種の特徴等について、「何個のどんぐりがなるか、何人分を養うことができるか」(シラカシ)、「クリスマスの飾り付けをするとどれだけの費用がかかるか」(モミ)、「葉っぱの形に由来するユリノキの別名は」(ユリノキ)などのクイズに答えてもらうなど、一方的なレクチャー型ではなく極力参加型の進行に努めました。

終了時の参加者の感想としては、「楽しく様々な樹木の事が知れてよかった」、「クイズが面白かった」等の好評な感想が多かった一方、「もっと多くの種類の木を知りたかった」との感想もあり、次回への課題かと思いました。

最後に参加者に出題した世界・日本の巨樹クイズに皆さんもチャレンジしてください。

問1 世界一背の高い樹木はどのくらい？

- ① スカイツリー
- ② 東京タワー
- ③ 千葉マリンタワー

問2 日本一背の高い樹木はどのくらい？

- ① 奈良の大仏
- ② 東京湾観音
- ③ 牛久の大仏(茨城県)

